

## 記 事

# 演 習 林 記 事

昭 和 4 6 年 度

「演習林報告」第10号を発売するに当り、この記事に掲載する。

## I 人 事

- 1) 篠原事務補佐員の退職にともない、昭和46年4月1日付、松田八千代が事務補佐員として演習林事務室に採用になった。
- 2) 昭和47年3月31日、演習林長中島武教授は、任期満了となった。

## II 施 設・設 備

- 1) 米野々事業区の長井田林道改修工事は、幅員3.6m、延長170mが工費2,840,000円、橋梁一基が、工費810,000円で施工された。
- 2) 岩屋小屋林道災害復旧工事、工費859,000円、岩屋小屋林道橋梁改修工事、工費280,000円が施工された。
- 3) 理工系学部設備費により、集材機（川崎機械製A D—1300 B型）一式を購入した。

## III 経 営

- 1) 1林班へ小班の一部2.2haの天然生林を、松山市森林組合との伐木造集材作業請負契約により、モミ、スギ、アカマツ、広葉樹の素材321m<sup>3</sup>を生産し、2,056,845円で伊予木材株式会社へ売払った。
- 2) 昭和45年台風10号による被害木の整理により540m<sup>3</sup>のスギ素材を生産した。この内202m<sup>3</sup>は1,708,000円で新建設工業株式会社へ、155m<sup>3</sup>は1,420,000円で伊予木材株式会社へ売払った。183m<sup>3</sup>の販売は47年度に繰越した。なお前年度生産分であるスギ素材239m<sup>3</sup>は、2,035,000円で松山市森林組合へ売払った。
- 3) 1林班へ小班の伐採跡地2.2ha、2林班へ小班の台風被害木整理跡地1.1ha、計3.3haに、スギ8,500本・ヒノキ6,000本・アカマツ750本、計15,250本の苗木を植栽した。また前年度新植地に、スギ500本、ヒノキ500本を補植した。
- 4) 幼齢造林地43.8haの下刈を行なった。つる切・除伐は19.1ha、枝打は15.5haに対して行なった。
- 5) 苗木生産は、勝山試験地にてスギ9,000本、ヒノキ6,500本、アカマツ750本、計16,250本の山行苗を生産した。また、スギ10,700本、ヒノキ7,000本、アカマツ5,500本を1回床替、ヒノキ3,600本を2回床替として苗畑に植付け、新たにスギ種子2.5kg、ヒノキ種子2.5kg、アカマツ種子0.5kgを播種した。スギ種子は、小松町湯浪、ヒノキ種子は、野村町野村、アカマツ種子は、津島町山財の各母樹林から採取したものである。

## IV 山 林 保 護 対 策

- 1) 管理事務所・作業所・事業区内の防火巡検を毎週一回実施した。
- 2) 昭和47年3月15日、松山市消防団湯山分団長以下4名に事業区内の防火診断を依頼、実施した。

## V 演 習 林 協 議 会

- 1) 昭和46年7月1日、第20回演習林協議会を開催し、昭和45年度事業報告に関する件を付議した。

- 2) 昭和46年12月7日, 第21回演習林協議会を開催し, 昭和46年度事業予定に関する件を付議した。

## VI 全国大学演習林協議会

- 1) 昭和46年5月18日, 全国大学演習林協議会総会が, 東京農工大学農学部で開催された。  
2) 昭和46年11月26日, 演習林業務担当者会議が, 東京教育大学農学部で開催された。

## VII 学生実験・実習

昭和46年度中に実施された, 演習林における学生の実験・実習は下記のとおりである。

実習種別	期 間	担 当 教 官	学 生
森林計画学	46年8月24日～28日	山畑教授, 藤本助教授, 山本助手	4回生 25名
森林土木学	〃 8月28日～31日	中島武教授, 伏見助教授, 紫垣助手	〃 〃
林木測定学	47年3月5日～10日	山畑教授, 藤本助教授, 山本助手	3回生 28名
造 林 学	〃 3月10日～13日	中島幸雄教授, 金子助教授, 辻田助手	〃 26名

ほかに, 造林学実習のうち, 育苗実験実習は, 勝山試験地において年間を通じて実施された。

## VIII 試験・研究

- 1) 46年度中に演習林に試験地等を設定し, 次の題名で試験・研究が始められた。
- ① 「森林量水試験」, 予定期間, 46年度より第1期10年間, 場所1林班は小班および2林班は小班(演習林, 森林工学講座共同)
  - ② 「林道のり面の保護工」, 予定期間, 46年5月～48年5月, 場所1林班へ小班(演習林, 森林工学講座共同)
  - ③ 「択伐作業林の環境と稚苗の生長について」, 予定期間, 46年3月～49年3月, 場所勝山試験地(森林計画学講座)
  - ④ 「アカマツの菌根について」, 予定期間, 47年2月より10年間, 場所1林班および研究室圃場(植物病理学講座)
- 2) 46年度中に演習林を利用した調査・研究等は次の通りである。
- ① 「米野々演習林の昆虫相調査」, 期間および場所, 年間を通じ演習林全域(昆虫学講座)
  - ② 「テープレコーダーを使用する毎木調査法の精度および功程」, 期間および場所, 46年7月中, 2林班(森林計画学講座)
- 3) 昨年度までに演習林内に設定され, 継続して測定・調査が行なわれている試験地は次の通りである。
- ① 六演習林共同試験「スギ品種地域特性試験地」第1試験地, —43年3月設定5林班い小班—
  - ② 六演習林共同試験「スギ品種地域特性試験地」第2試験地, —44年3月設定1林班は小班—
  - ③ 六演習林共同試験「スギ品種地域特性試験地」第3試験地, —45年3月設定1林班は小班—
  - ④ 六演習林共同試験「スギ品種地域特性試験地」第4試験地, —45年3月設定1林班は小班—
  - ⑤ 六演習林共同試験「スギ品種地域特性試験地」第5試験地(L), —46年3月設定1林班へ小班—
  - ⑥ スギクローン集植地, —45年3月設定1林班は小班—
  - ⑦ 「施肥試験地」, —43年3月設定4林班は, に小班—
  - ⑧ 「林分材積生長量測定試験地, №1～№5」, —41年3月設定1林班い, ろ小班, 2林班は, わ小班—
- 4) 昭和46年気象観測結果は別表に示す。  
5) 47年3月, 演習林報告第9号500部を発行した。  
6) 47年2月, 六演習林共同研究協議会が宮崎大学田野演習林および九州大学宮崎演習林で開催された。

## IX 学部庭園管理

環境整備事業は、ユーカーリ会館庭園を残しほぼ終り、経常的な維持管理も特記事項はない。

## X 昭和46年度予算および決算

### 演習林歳入予算

収入目標額		
基準	収入	3,225,000
木材引	取税	63,000
計		3,288,000円
歳入決算		
素	材	7,078,281
木材引	取税	141,564
計		7,219,845円

### 演習林歳出予算（校費）

事業費	6,176,000	
林道災害復旧受益者負担金	380,000	
演習林設備費	960,000	
庁費	8,160	
教官当積算校費	502,356	
自動車維持費	58,000	
設備更新費	198,000	
前年度調整額	330,023	
定員削減等経費負担額	△ 337,100	
予算節約額	△ 29,337	
学部内調整額	469,484	
計	8,715,586円	
旅費		
事業旅費	346,000	
会議旅費	80,880	
教官研究旅費	54,127	
連絡旅費	12,800	
予算節約額	△ 9,659	
計	484,148	

歳 出 決 算 (校 費)

項 目	内 訳		計
	労 賃	そ の 他	
生 産	1,203,330	1,449,238	2,652,568
更 新	439,280	7,705	446,985
保 育	748,880	63,750	812,630
土 苗	199,150	120,051	319,201
諸 調 査	122,800	123,040	245,840
保 護	5,440	11,515	16,955
管 理	36,000	10,000	46,000
学 生 実 習	—	164,167	164,167
試 験 研 究	90,100	90,273	180,373
自 動 車 維 持	181,180	613,175	794,355
集 材 機 購 入	—	203,534	203,534
さ く 岩 機 購 入	—	902,810	902,810
林 道 災 害 復 旧 負 担 金	—	785,160	785,160
	—	1,145,008	1,145,008
計	3,026,160	5,689,426	8,715,586

(旅 費)

事 業 旅 費	279,810
会 議 旅 費	113,000
教 官 研 究 旅 費	55,798
連 絡 旅 費	35,540

計 484,148円

庭 園 管 理 歳 出 予 算

庭 園 管 理 費	249,800
予 算 節 約 額	△ 9,950

計 239,850円

歳 出 決 算

項 目	内 訳		計
	労 賃	そ の 他	
庭 園 管 理 費	184,100	55,750	239,850円

自 動 車 道 新 設 費 (施 設 課 所 管)

予 算	3,650,000円
決 算	3,650,000円

林 道 災 害 復 旧 費 (施 設 課 所 管)

予 算	1,139,000円
決 算	1,139,000円

昭和46年気象観測結果

(別表)

種目別	月別												年		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
気	平均	0.9 (1.2)	1.8 (2.2)	4.0 (3.4)	11.2 (10.9)	14.5 (14.9)	19.9 (19.0)	24.0 (23.6)	24.1 (23.9)	21.0 (21.4)	13.8 (14.4)	9.4 (8.7)	4.7 (4.0)	12.4 (12.3)	
	最高	平均	6.1 (6.2)	6.8 (7.6)	10.5 (9.2)	17.8 (17.1)	21.1 (21.3)	24.9 (23.5)	28.2 (28.3)	28.2 (28.7)	25.6 (26.2)	18.4 (19.4)	14.9 (14.6)	10.2 (9.2)	17.7 (17.6)
		極	11.9 (13.1)	13.8 (17.8)	19.0 (19.2)	23.2 (23.2)	28.0 (28.0)	28.6 (28.6)	30.6 (30.8)	31.4 (31.4)	29.5 (30.1)	22.0 (26.3)	20.0 (20.8)	20.0 (20.8)	16.4 (16.4)
	最低	平均	-3.2 (-4.2)	-2.7 (-2.6)	-1.1 (-1.9)	4.2 (4.6)	8.7 (8.8)	16.0 (15.2)	19.8 (19.0)	19.0 (18.9)	15.9 (16.5)	8.8 (9.5)	4.4 (3.5)	-1.1 (-1.3)	7.4 (7.2)
極		-6.8 (-7.8)	-8.4 (-8.4)	-6.8 (-6.9)	-0.4 (-1.0)	2.0 (2.0)	10.6 (9.4)	17.6 (14.5)	16.0 (16.0)	11.5 (11.0)	3.2 (1.2)	-2.0 (-4.0)	-4.6 (-4.8)		
湿度	平均	68 (74)	66 (72)	59 (64)	62 (68)	65 (70)	72 (77)	72 (74)	71 (72)	71 (73)	68 (71)	68 (72)	71 (70)	68 (71)	
	極	29 (29)	23 (23)	11 (11)	15 (15)	14 (10)	31 (17)	41 (37)	34 (34)	31 (31)	29 (29)	18 (18)	35 (32)		
降水量	月	62.6 (51.5)	55.6 (75.9)	95.8 (83.8)	94.6 (189.3)	193.9 (179.0)	251.4 (345.4)	217.7 (186.3)	294.1 (339.5)	124.7 (157.2)	111.0 (129.3)	34.7 (77.3)	72.8 (66.5)	1,608.9 (1881.0)	
	日最大	14.2 (35.4)	15.4 (32.2)	23.2 (23.2)	25.5 (49.5)	69.1 (69.1)	48.7 (91.5)	71.9 (71.9)	83.4 (300.5)	50.4 (54.6)	30.6 (36.8)	8.4 (34.8)	25.4 (25.4)		
	6時間最大	—	—	—	14.6 (31.0)	24.6 (28.5)	41.8 (41.8)	41.5 (41.5)	45.2 (169.5)	22.5 (37.8)	14.6 (19.9)	4.8 (18.5)	—		
蒸発量	月	21.3 (31.5)	28.5 (38.0)	62.4 (63.0)	100.2 (86.8)	96.5 (95.8)	73.3 (61.6)	104.1 (109.4)	109.9 (104.9)	82.1 (78.9)	58.5 (57.2)	45.0 (42.4)	36.7 (34.7)	818.5 (804.2)	
	日最大	1.4 (2.4)	2.2 (3.0)	4.5 (4.5)	6.9 (6.9)	5.4 (7.1)	6.1 (6.1)	5.8 (8.5)	8.4 (8.4)	4.8 (5.5)	3.5 (3.5)	2.8 (3.1)	3.8 (3.8)		

( ) 内はそれぞれ昭和45・46年の平均値および極値を示す。